

<東大阪市>

1. 学校図書館に関する具体的方策や行政からのサポートについて

- ・WIN書庫を活用した学校図書館蔵書管理システムの運用
- ・小学校における、公立図書館との連携

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

市教育研究会に東大阪市立小・中学校図書館教育研究会がある。小学校、中学校それぞれの総会・研修会・読書感想文（感想画）審査会を実施している。（総会・研修会は中止）

3. 図書館教育研究会の活動について

- ◎小学校 総会および講演会（中止）
- ◎中学校 総会および研修会（中止）
- ◎学校図書館夏季セミナー、府学校図書館研究集会、府市合同学校図書館研究集会等への参加
- ◎読書感想文合同審査会（小・中学校）
- ◎令和2年度 読書感想文応募作品数
 - ・読書感想文代表作品決定
- 9月 小学校読書感想文コンクール審査会
応募総数 2,956作品
（低学年）自由読書 616、課題読書 135
（中学年）自由読書 715、課題読書 263
（高学年）自由読書 978、課題読書 249
- 9月 中学校読書感想文東大阪市審査会
25校の図書館教育担当者による合同審査会
応募総数 6,506作品
自由読書 6334、課題読書 172
- ◎令和2年度 読書感想画応募作品数
 - ・読書感想画代表作品決定
- 1月 小学校読書感想画コンクール審査会
応募総数作品 81作品
- 1月 中学校読書感想画東大阪市審査会
応募総数 29作品
- ◎小学校教科研究会B授業研究会（中止）

4. 学校図書館の蔵書管理方法について

市立全小中学校でデータベース化。バーコードによる貸出。

<柏原市>

1. 学校図書館に関する具体的方策や行政からのサポートについて（例年）

- ・読み聞かせのボランティア派遣
- ・学校司書の配置
- ・柏原市立図書館との連携 図書館司書による出前授業
- ・ブックトーク
- ・本の修理講座
- ・図書館のお話
- ・放課後子ども教室での読み聞かせ等

2. 学校図書館関係の組織形態と活動について

- ・市教育研究会に図書館教育部会がある。
月1回、小中の担当者が集まり、会議や交流会、読書感想文関連の作業、研修等を行った。

3. 図書館教育研究会の具体的な活動について

- ・読書感想文審査会
《小学校》 472作品
低学年 自由図書 67 課題図書 37
中学年 自由図書 130 課題図書 31
高学年 自由図書 168 課題図書 39
《中学校》 259作品
自由図書 255 課題図書 4
※コロナのため夏季休業が短縮、応募減少
- ・読書感想画
読書感想画については、応募がなかった。
- ・小中交流会
ディスプレイの方法、整理の仕方、読書活動の活性化、市図書館との連携などについて各校の取り組みを紹介。
- ・学校司書による研修会（企画したが中止、来年度に開催予定）

4. 各学校図書館の蔵書管理方法について

- ・図書原簿（契約時点で書店がデータ作成）による。
- ・データ管理をしている学校もある。
（独自にバーコードで貸出し業務の管理）

<八尾市>

1. 学校図書館に関する具体的方策や行政からのサポートについて

- ・各小学校に週 16 時間、中学校には週 8 時間、図書館サポーターが配置されている。
- ・市立図書館からの長・短期貸し出しを利用してきており、また、市立図書館図書ネットによる検索、予約、新着図書の紹介など、連携を進めている。

2. 学校図書館関係の組織の形態と活動について

- ・市教育研究会に学校図書部会があり、各小中学校から代表が集まり、会議、読書感想文選定、実践報告、研修会と計画的に行っている。

3. 学校図書館の具体的な活動について

- ・読書感想文審査会
《小・中学校》 8 2 2 作品
自由図書 2 7 1 課題図書 5 5 1

- ・読書感想画
募集せず。

4. 【高安西小学校による授業・実践報告】

高安西小学校図書部では、『読書好きが増えようように』をテーマに掲げ、図書館サポーターや図書委員会など様々な活動と連携して、児童の図書活動の活発化と効果的な学校図書館の活用を図っている。以下、実践内容の取組みを紹介する。

①子どもの実態把握のためのアンケート

アンケート項目

- 1：本を読むことは好きですか。
- 2：図書の時間は楽しみですか。
- 3：読書が学習に役立ったことはありますか。
- 4：1日にどれくらいの時間、本を読んでいますか。
- 5：どんな本が好きですか。

アンケート集計結果から、読書に対して肯定的な回答が多いことや、小説を中心に様々な本と出会っている児童が多いことが分かった。

②図書室について

高安西小学校には、低学年図書室と高学年図書室の2つの図書室がある。それぞれの実態に合わせて蔵書の内容が異なっており、低学年図書室は絵本中心で、図鑑や生きものに関する本も人気のため多数ある。

高学年図書室は、文学作品、伝記、図鑑などが多く、調べ学習に使用できる本も多数ある。子どもがより本に親しめるように、図書館サポーターによるおすすめの本を陳列するコーナーもある。

また、読み聞かせも行っており、読み聞かせ後には同じ作者の本を借りていく子どもの姿も見られる。

③図書活動

- ・朝の読書 毎週火・木の朝の時間に実施。
- ・家族10分間読書 年3回(各学期に1回)実施。家庭の読書活動を啓発する取組み。毎日10分間、子どもとお家の人が一緒に本を読む。
- ・お話宅配便 学年、年間1回(45分)実施。地域や保護者の方の協力を得て、多数のジャンルの本を読みきかせている。

④図書委員会の取組み

- ・低学年への読み聞かせ(委員会の時間にリハーサルを行う)
- ・図書室のポップ作り(図書室前の掲示板で掲示)
- ・読書マラソン
低学年：図書の先生のおすすめの本50冊の中から7冊以上読み、一言感想を伝えられたら達成
高学年：マンガ以外の小説・シリーズ本を5冊以上読み、感想を一行書けたら達成

⑤教科学習を支えるための図書活動

- ・図工 絵本や図鑑を発想や構想の手がかりに活用する
- ・生活、総合・国語での調べ学習

様々な取組みや6年間の読書時間の積み重ねにより、読書の習慣がついてきている。今後もたくさんの本と出会い、長文の本も読めるようになることが課題である。